



ヨコハマ市民まち替請事業

第2次整備提案書

※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

1 整備提案の概要について

整備提案名	地元企業・地主と市民による安全・安心のみちづくり
提案グループ名	新羽駅周辺街づくり協議会
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	港北区 新羽町1617~1623の水路敷き
整備したい施設の概要	<p>① 水路敷き路地の安全・安心の道としてのアートウォーク化 ー現在駅から西側への幅員3mの水路敷きの路地空間は、歩行者専用道路として利用されているが、夜間は暗く、裏道的存在である。これをアートウォークとして整備し、人々が安全で安心して楽しめる道づくりをする。</p> <p>② 道路拡幅用地の暫定活用ーポケットパーク ー都市計画道路川崎町田線の新羽十字路付近は、道路局の用地買収済み部分を活用し、歩行者等が憩えるポケットパークとして花やベンチの整備を行なう。</p>
整備助成金申請 予定額	500万円
設計及び整備の スケジュール	平成20年2月周辺地域町内会、新羽小・中・高等学校との報告会 平成20年3月プロジェクトチームの編成 平成20年4月~6月設計・活動プログラムの計画 ーワークショップの準備、小学校の総合学習とのスケジュール調整 平成20年7月 照明器具、防犯カメラの設置 平成20年8月~9月 アーティストと小・中学校とワークショップによる制作 平成20年10月路地空間の作品の施工

2 創意工夫について

計画について、特に工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)	小学生や中学生の子供たちとアーティストがテーマを決めて、長さ約180m、(幅3m)水路敷きのアスファルトの上に、タイルや様々な材料を使って子供たちと共アートの制作を行う。さらに、この路地は安全安心の道として、地元の企業の好意により比較的安価でしかもより最新式の防犯カメラを取り付ける。また、この道に隣接する地主の協力により敷地内から、路地への照明を確保する。これによって、アートウォークとして新羽のシンボルロードとする。 ー一方現在閉鎖的に囲われている道路拡幅用地を暫定的にポケットパークとして活用する。
--	---

<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>※ 詳細については、「想定整備費用内訳書（第3号様式）」に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 費用に関して、助成金以上普請事業がかかる場合は、まちづくり協議会有一些程度負担し、場合によっては町内企業に協賛金等によりまかなう。 ■ 労力に関しては、専門的な工事以外は、協議会のメンバーが施工の支援をするとともに、学校関係のPTAや、老人会等の協力を仰ぐ。特にタイル等の制作等は新羽小学校との連携を想定する。
<p>整備した施設の維持管理・運営^{注5)}計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 維持・管理に関して アートウォークは、舗装・タイル等の清掃を行う。防犯カメラは定期的にメンテナンスを行なう。さらに照明器具は定期的に協議会で維持管理する。 ポケットパークは花の里づくり会や老人会等と協力しながら、花等を維持管理する。 ■ イベントに関して（アートイベントと朝市） この時期に第3回横浜トリエンナーレが開催されており、関連プロジェクトとして連携する予定（路地を活用したイベント） ■ また、路地に隣接する横浜農協・新羽支店の駐車場で、休日に定期的に朝市（周辺の農家の野菜や果物）を開催し、休日の賑わいを作り出す。

3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ アートウォーク（水路敷き）に関しては、港北土木事務所が地権者であり、通行の邪魔にならないものとして、舗装等については合意を得ている。沿道の地権者の中で、防犯カメラの設置場所は地主と借主の合意を得ている。また照明についても、各地権者との合意を得ている。 ■ ポケットパークに関しては、暫定利用としてある程度の占有許可（毎年更新し、現状復帰を原則として）の方向で道路局に合意を得ている。
--	--

4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 課題については、毎月協議会役員会で話合われ、8月には地元町内会、こども会、PTA等との懇談会により、子ども達の安全で安心できる遊び場の不足や通学路についての問題解決が話し合われた。その中で、防犯カメラの設置は、とても安心でき、犯罪の抑止力になると言う意見が多かった。 ■ また、地域に公園が不足していると言う意見が多く、ポケットパークを確保し、ある程度憩いの空間としての役割が期待できる。
--	---

5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。(材料の調達方法や施工業者への発注方法など) ※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防犯カメラは、地元の企業（トム通信）と調整し、最新型の機種を選び、カメラ1台で4台分の働きをするものを検討した。これにより、当初より比較的整備コストを減額できた。 ■ ポケットパークの花等は、地元の企業（ヨネヤマプランテーション）より比較的安く調達でき、さらにメンテナンスや季節にあった花選び等のノウハウを支援してもらえる。 ■ アスファルトのアートウォーク化については、現在検討中で、タイルだけでなく、様々な材料の検討を行ないたい。特に今年まで長く会員であった、道路舗装の専門企業（佐藤渡辺組）へ整備費の低減等のノウハウや情報提供を現在交渉中である。
---	--

6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ アートウォークは、路地空間として、現在駅から中央町内会館に至る裏道として機能しているが、整備をきっかけにこの路地を中心に周辺の新しく移転してきた集合住宅の人々や地域住民全体のコミュニティ意識を活性化することが期待できる。 ■ さらに地元企業と地主の協力により整備された路地空間で、アートイベントや朝市等を行なうことによって、まちづくり活動を活性化できる可能性が大きい。 ■ また、ポケットパークは、地域の高齢者や子育て中のおかあさんたちにとって、憩いの場や公園デビュー場として期待できる。
---	--

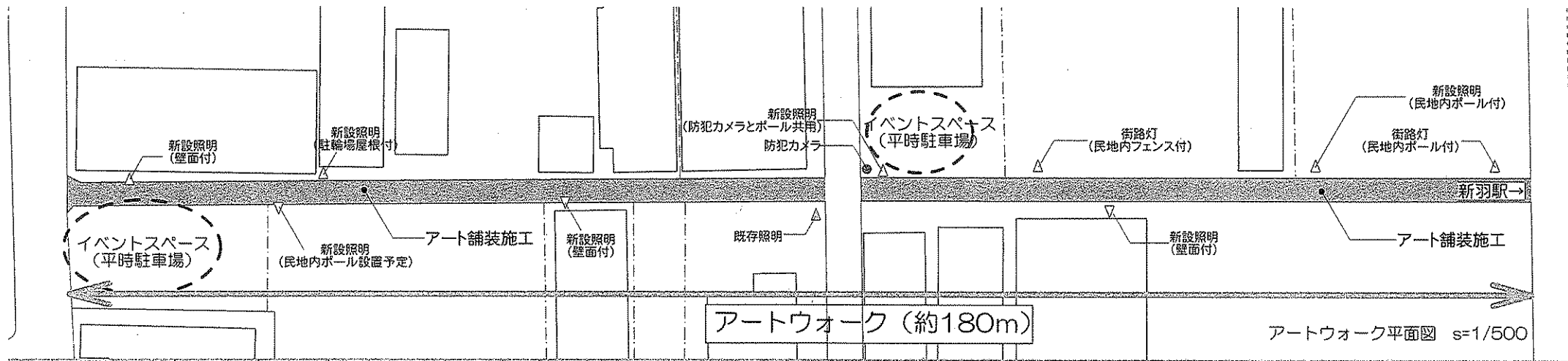
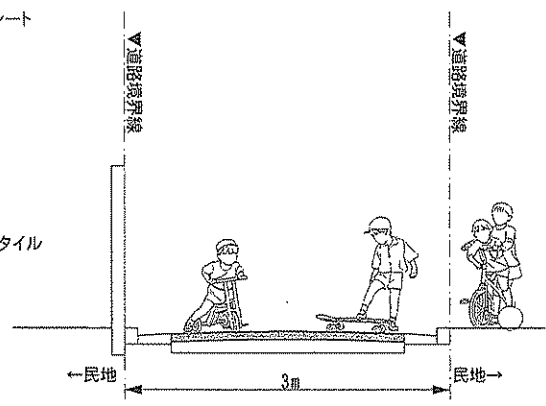
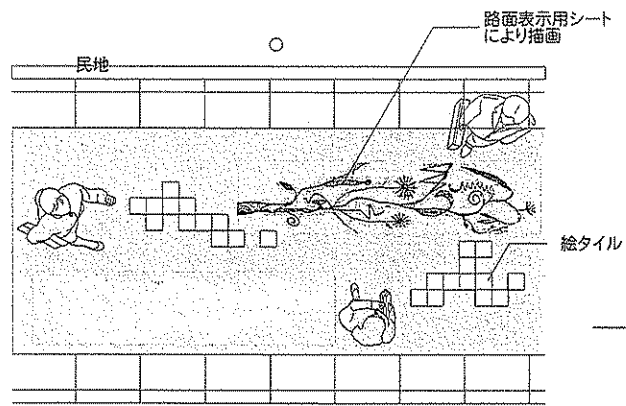
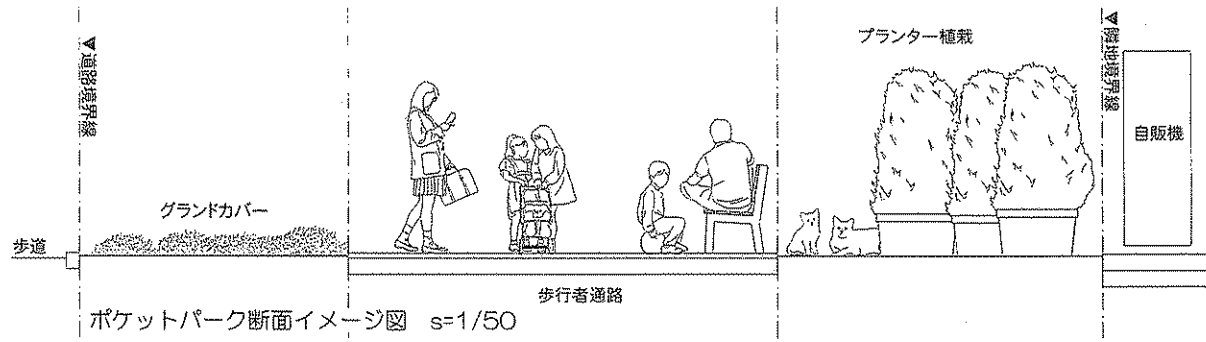
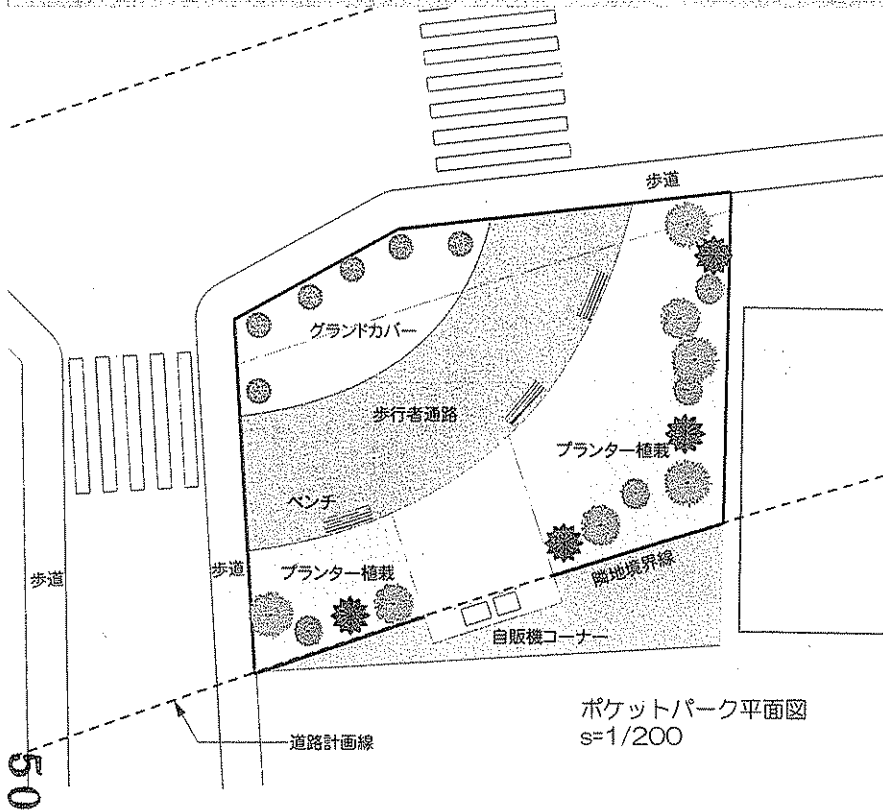
7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ アートウォークの整備手法は、現在若手のアーティストで、浅井裕介氏と新羽の子供たちのコラボレーションによる路作りが挙げられる。浅井裕介氏は、横浜美術館で「根っこのカクレンボ」として2007. 8月～12月に公開制作と展示を行なっており、「バンカート1929」から出現した期待のアーティストである。彼と子供たち、さらに協議会会員とのコミュニケーションの中で、幅3mで約長さ180mのアスファルトをアートに変えることが期待できる。 ■ またこの地域で様々な展開をしている花の里づくりの会（新羽の寺社境内に特徴のある花や樹木を植え、花の里で新羽をネットワーク化する）のメンバーと町内企業とのコラボレーションによる花のあるポケットパークの整備は、都市計画道路の拡幅用地の暫定利用策としては、画期的なものになる。 ■ 地主は、都市型農業を営んでおり、花卉、果樹（浜梨、ぶどう）竹の子、野菜等多様なものを扱っており、現在JA青年部の朝市を拡大し、地産地消の意味でも、地主と新住民の交流の場として期待できる。
-------------------------------------	--

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- ✓ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ✓ 記載内容に個人情報はありません。

平面図 - 地元企業・地主と市民による安全・安心のみちづくり -



ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計 万円	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
①設計管理料	設計図書の作成 工事監理	一式		30万円	
	アーティストデザイン等	一式		30万円	
	小計			60万円	
②アートウォーク	路地照明	9個	3万円	27万円	
	防犯カメラ・録画装置付き	一式		170万円	
	アートウォークの タイル・絵の施工	一式		203万円	
	小計			400万円	
③ポケットパーク	簡易舗装	100㎡ (1/3)	0.5万円	50万円	
	ベンチ	3個	10万円	30万円	
	花等植栽（簡易 舗装以外の上）	一式		30万円	
	小計			110万円	
合計				570万円	

事業費合計570万円 但し消費税込みとします。普請事業補助金は500万円を想定不足分、70万円は新羽駅周辺まちづくり協議会の自己負担とします。



ポケットパーク完成予想図

交差点に面した部分にはグランドカバーによる植栽を施し、車両の進入に対する視認的な抑止効果を期待する。内部には歩行者通路として幅5m程の舗装部分を設け、交差点付近における安全な歩行者動線の確保に寄与する。

またベンチを設置し、歩行者の憩いの場としての役割を提供する。

敷地後背部には地元企業等の協力を仰ぎ大型プランターによる植栽を施し、仮設性を維持しつつ周辺環境の向上を図る。また隣接する残地（民地）部分と一体的な有効利用を図る。具体的には町内企業の協力によって自動販売機を設置し、利便性や、夜間照明の不足しがちな広場での貴重な光源としても期待する。またその売上をポケットパークの維持費に充てることも検討している。

アートウォーク完成予想図

照明設備の充実と防犯カメラの設置により、安全・安心なまちづくりのモデルケースとして、子供が安心して遊べるような空間を創造する。防犯カメラはアートウォーク中心部の交差点に設置され、4方向全ての街路を視野に納めることが可能となる。

またアートを切り口として、アーティストと地域住民・児童とのコラボレーションや、地元利用者あるいは訪れた人々がアートに触れることで、地域のシンボルストーリーの一つとなることを期待している。

恒設のアートとしては、路面表示材シートや絵タイルを用いて路面に絵を描き出すことを考えている。また将来的にはトリエンナーレ等のイベントと連携して、仮設的なアートインスタレーションを設置することも考えている。

路地に面した駐車場の一部はイベント時に催事スペースとして使用する。



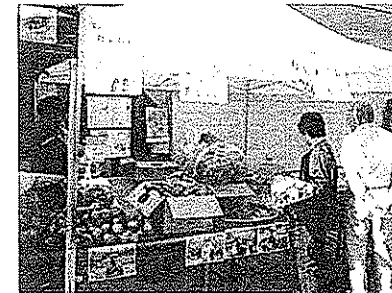
朝市の開催

新羽周辺では都市農業が行われており、JA横浜新羽支店の青年部が定期的に朝市を開いている。

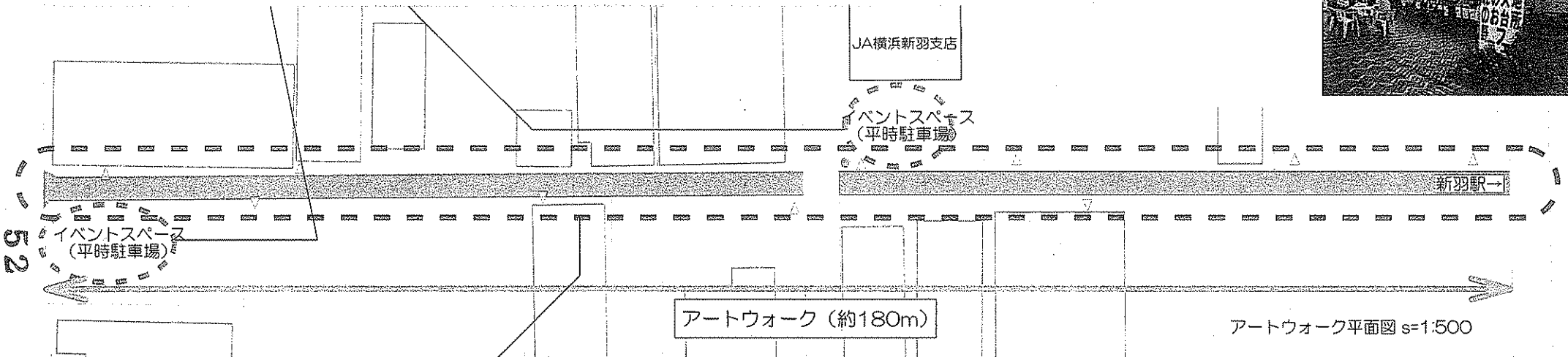
現在幹線道路側で開かれている朝市を、普段は駐車場として使われているアートウォーク側のスペースで開催。歩行者専用道路で安全安心なお買い物♪



JA横浜新羽支店青年部による朝市

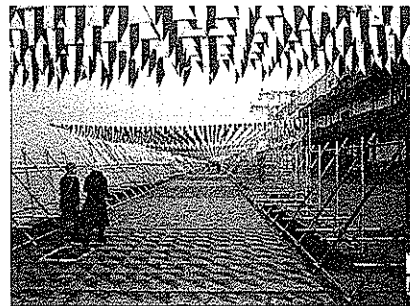


一歩行者専用道路での朝市の例
北の大地お台所フェア
/えだきんパーク
(荻田南近隣センター商店街)



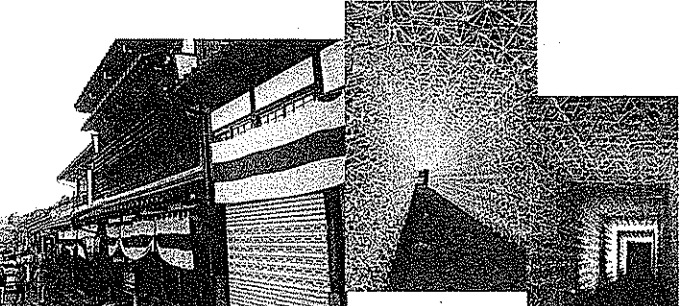
アートイベント

道路に沿って点々と単にオブジェを設置するのではなく、180mに及ぶ歩行者専用道路(水路敷き)全体に統一感と連続性を持たせたイベントにすることで、昼夜を通して楽しめる安全安心な歩行者空間とする。(費用は今回プロジェクトとは別途)



ランタン (中国提灯) / 長崎市

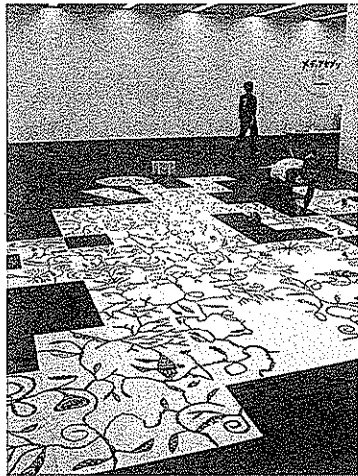
ヒュランブロード / 横浜トリエンナーレ2005



越中八尾 おわら風の盆 / 八尾町

ハンガートンネル / みかんくみ (BankART NYK)

浅井裕介と小学生がつくるアートウォーク



デザインイメージ：浅井裕介・作

アーティスト浅井裕介と地元小学生等によるワークショップを開催し、アートウォークを飾る材料を作成する。地域の小学生とアーティストの協同作業によって作られたデザインによって地域のシンボルロードを飾ることを目指す。素材としては絵タイル・路面表示シートの使用を想定する。

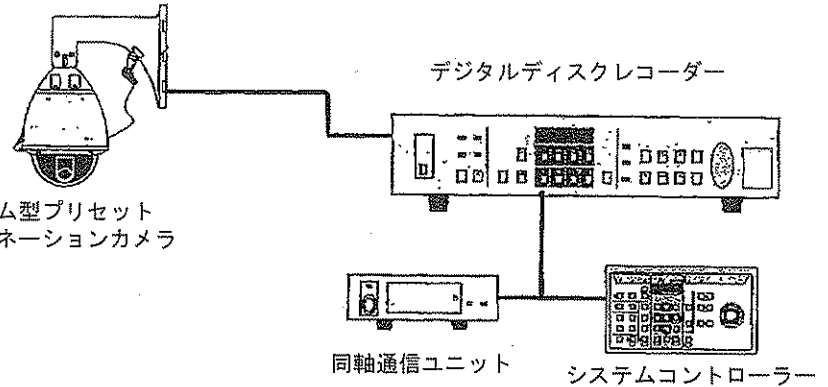


ワークショップイメージ：横浜市中区東小学校

防犯カメラ

安全・安心のみちづくりを実現するための事業の一環として、地元企業の協力のもとに防犯カメラと記録システムの構築・運用を行う。

24時間無人で稼働するシステムで、下記構成図のようにカメラ・レコーダー・コントローラーを組み合わせたものとなる。カメラはアートウォークの交差点付近にポールから吊り下げる形で設置され、首を振ることで360°の方向をカバーし、1機でも死角のない運用を可能とする。カメラの動きは事前にプログラムすることで、特定の方向について重点的に運用することも可能。機器の管理・運用は街づくり協議会が行う。通常時は画像を24時間体制で記録し、画像の監視は行わない。問題が発生した際に、警察と連携をとりつつ記録画像を問題解決のために提供する。



ドーム型プリセット
コンビネーションカメラ

同軸通信ユニット

システムコントローラー

照明設備



防雨型スポットライト
両口ハロゲン球150Wx1
アルミダイキャスト製

また安全・安心のみちを実現するために、左記のような比較的簡易な照明をアートウォーク沿いに設置し、夜間でも安心して歩けるみちづくりを目指す。

設置は民地側の協力の下におこない、既存のポール、建物壁面、屋根面、フェンス等を利用することで、大規模な工事を伴わずに幅員の狭い路地への導入を図る。

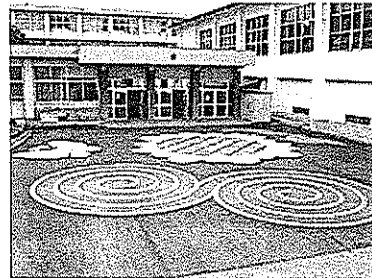
電源については民地の既存のものを使用するが、ランニングコストは協議会の負担とする。

●路面表示シート（クイックシート）

アートウォークのデザイン材料の1つとして、路面表示シートの使用を想定している。路面に貼り付けて施工するもので、CADデータによって自由な形に切り抜くことができる。路面への接着は裏面糊付きのシートを使用するか、もしくは溶融による。これを、今回は細かな模様のパーツに分けて製作し、現場で自由に組み合わせてアーティストや場合によっては小学生が絵を路面に描画することを考えている。

左の写真は、小学校の校庭に遊具を施工した事例。

写真：サンコー企画株式会社

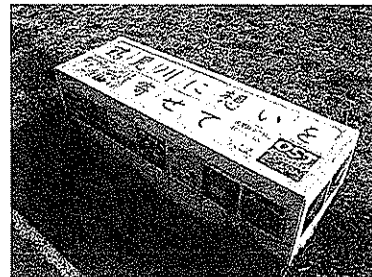


クイックシート：石川県内小学校事例

●タイル

もう1つのアートウォークデザイン材料として、表面に意匠を焼付けた絵タイルの使用を想定している。今回は15cm×15cm程度の大きさを予定しており、上記のようなワークショップによってアーティストや子どもたちと一緒に絵柄をデザインすることを考えている。

左の写真は、市民団体と小学生が作ったタイル(陶板)事例。施工については既存アスファルト舗装を一部撤去し、コンクリート路盤の上にタイルを設置した後、周囲アスファルト舗装との間に樹脂モルタル充填程度を想定する。またタイル表面については滑り止め加工を施し安全性に留意する。



タイルイメージ：横浜市港北区大曾根陶板広場事例

市民活動団体 花の里づくりの会

“ふるさとに花木を植えて潤いと特色ある地域づくりを目指すこと”を目的に、

- ・協賛寺社の認定と植栽する花木の選定
- ・植栽する花木の資金的援助
- ・植栽した花木の栽培等の指導

などの活動を行っている団体。平成16年度以降、協賛寺社に植栽を行っているほか、平成17年度には新羽小学校とともに新羽丘陵公園に卒業記念樹を植樹。



北杉山神社



光明寺



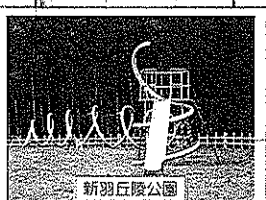
西方寺



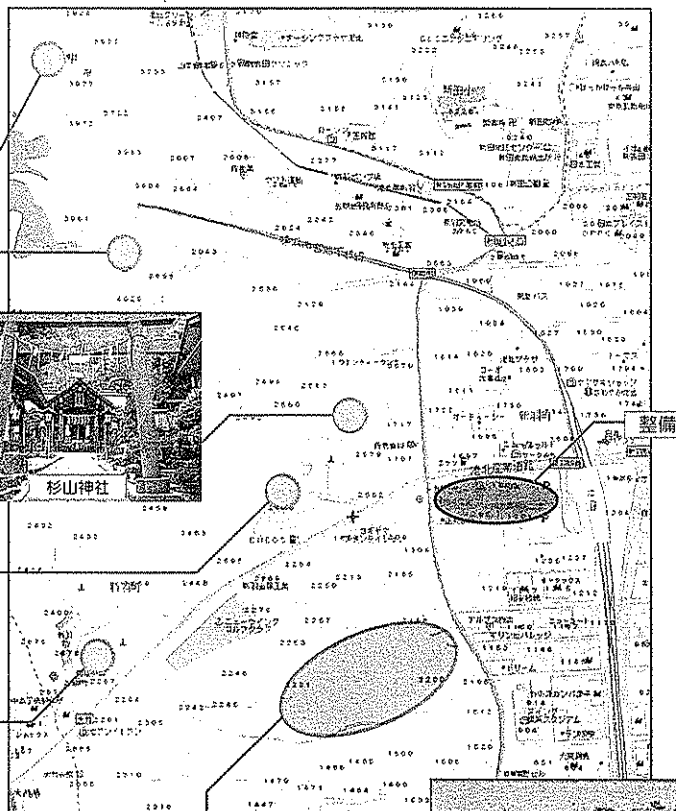
善教寺



記念樹



新羽丘陵公園



整備場所



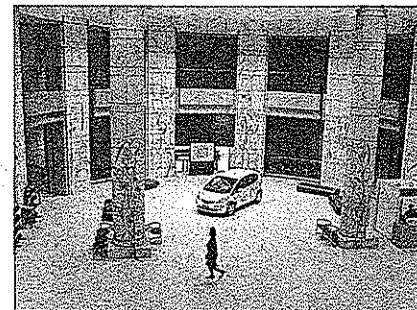
杉山神社



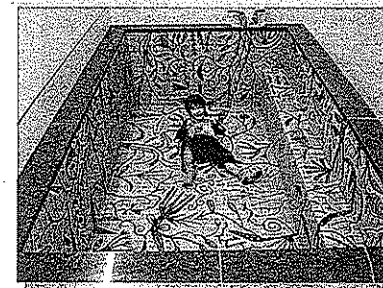
尊念寺

アーティスト 浅井裕介

根っこのカクレンボ・横浜美術館（横浜）/2007



植物のじかん・メディアセブン（川口）/2007



直島風呂屋劇場・旧三菱マテリアル社員浴場（直島）/2006

プロフィール

身の回りのものを用いさまざまな形でドローイングを続ける、代表作のMasking Plantではマスキングテープとマジックを使い室内に留まらずテープの貼れる所なら室内野外問わずどこでもどこまでも植物の絵を生やしていく、また描かれた植物を一定期間の展示の後、剥がしキャンバス等に隙間無く貼り全く別の形で標本と呼ばれるシリーズの作品とするなど素材や作品の再利用を行う作品を多く発表している。

現在横浜美術館で

「浅井裕介展 根っこのカクレンボ
Masking Art Project in YOKOHAMA MUSEUM OF ART」
を作成中。